

病害虫防除技術情報第11号

平成29年10月11日
三重県病害虫防除所

**果樹カメムシ類の発生が増加しています！
圃場への飛来に注意してください！**

- 1 対象作物 果樹全般（カンキツ、カキなど）
- 2 対象病害虫名 果樹カメムシ類（特にツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）
- 3 発生状況 多
 - (1) フェロモントラップへの誘殺数は8月下旬から増加し、9月1か月間の誘殺数がツヤアオカメムシでは松阪市31頭（平成7.5頭）、津市白山町川口29頭（平成13.8頭）、多気町47頭（平成14.4頭）と平成より多くなっています。クサギカメムシでは津市白山町川口で10月に入り急増しています（図1）。
 - (2) 予察灯（御浜町）への誘殺数は9月上旬から増加し、9月下旬のツヤアオカメムシでは3,940頭（平成3,502頭）と過去10年で3番目の多さになっています（図2）。
 - (3) 県内の一般圃場では、中南勢地域のカキや紀州地域のかんきつの一部で飛来、被害が確認されており、果実への吸汁加害が懸念されます。
 - (4) 今年は、近隣県も含め全国的に果樹カメムシ類の発生が増えています。
 - (5) 過去の多発年には10月中旬ごろまで発生が多い状態が続いているため、今後もうしばらく注意が必要です。

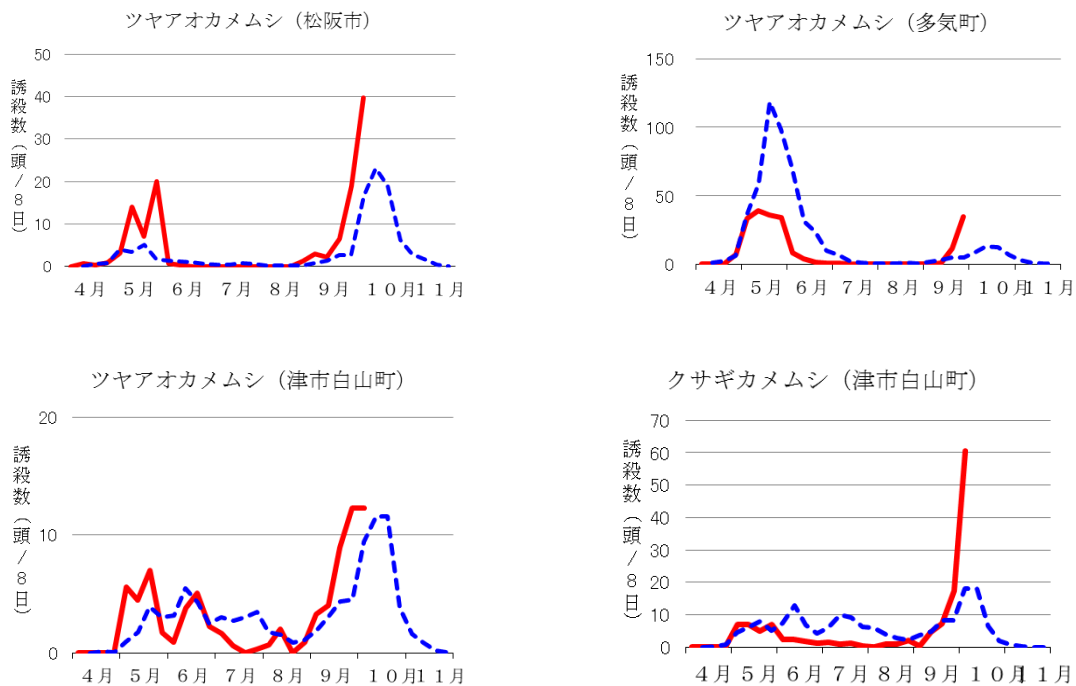


図1 フェロモントラップ誘殺数(いずれも実線が2017年、破線が平成)

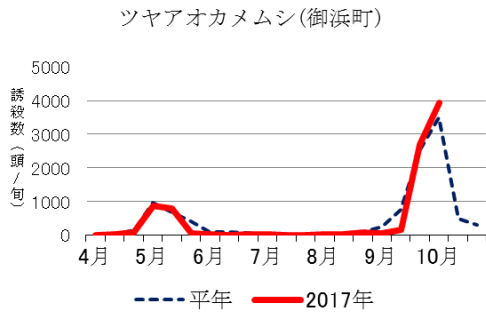


図2 予察灯誘殺数

4 防除上の注意事項

- (1) 降雨がない夜に盛んに飛翔し、圃場に飛来します。夜間の照明等への飛来を参考にして、圃場をよく見回り、早期発見に努めてください。特に、山林に近い圃場や過去に多飛来が認められた圃場では注意してください。
- (2) 防除はカメムシ類の飛来を確認してから実施してください。なお、一旦飛来すると連続して飛来することが多いので、防除実施後も注意してください。
- (3) 果樹カメムシ類は夕刻から活発に飛翔するので、朝夕の薬剤散布が効果的です。また、なるべく広い範囲で散布日を合わせ、一斉防除することによって効果が高くなります。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。